

令和4年度 学校評価シート

学校名：和歌山県立桐蔭中学校

校長名：笹井 晋吾

目指す学校像・育てたい生徒像（スクール・ポリシー等に基づいて記載する）

- ・自ら人生を切り拓く人を育てる学校
- ・「文武両道」を実践しながら人間性を高め、これからのグローバル社会でトップリーダーとして活躍・貢献しようとする気概を持つ生徒
- ・自己の在り方生き方についてよく考え、自分自身を成長させることを意識し、地道な努力を重ねる生徒
- ・自主活動に主体的に取り組み、意欲的かつ自律的に努力する生徒

学校評価の公表方法

保護者に対して自己評価及び学校関係者評価の結果を知らせるとともに、本校ホームページにおいても広く公表する。

現状・進捗度	A	十分に達成している。	(80%以上)
	B	概ね達成している。	(60%以上)
	C	あまり十分でない。	(40%以上)
	D	不十分である。	(40%未満)

自己評価（分析、計画、取組、評価）

番号	計画・取組			評価（月 日現在）			
	重点目標	現状	具体的取組	評価項目と評価指標	進捗度	進捗状況	今後の改善方策
1	キャリア教育を柱として、多様な価値観を学び、国際的な視野に立って主体的に考え行動できる生徒を育てるための、中高一貫教育の充実・深化に向けた具体的な方策を確立する。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・「キャリア桐の葉Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」の探究的な学びを通して、自らの在り方・生き方を主体的に考えさせる工夫をする。 ・国際的視野を高めるプログラムを積極的に周知し、自らの在り方や生き方を深く考え、挑戦する生徒を育てる。 ・中高職員による意見交流や公開授業で課題を共有し、高い目標で自己実現を目指すための指導内容を明確にする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・望ましい勤労観・職業観を育む探究的な学習の充実。 ・事後学習、振り返りシートの結果。 ・国際的な視野を高める取組の充実と積極的な周知。 ・生徒の参加状況と意識の状況。 ・生徒指導に係る情報交換会や公開授業の実施・見学の充実。 ・情報・授業交換会の実施状況。 			
2	基礎・基本の習得と思考力・表現力の育成及び主体的な学習態度を育成するための教員の更なる指導力を向上させる。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査、県学習到達度調査、全国学調等を活用し、到達目標を明確にして適切に評価し、授業改善に生かす。 ・学び合い高め合う学習活動の質を高め、家庭学習や研究等の自発的な学習を促す授業を構築する。 ・主体的に学習に取り組むよう、学校内外に生徒の発表や活躍の機会を多く持つ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査、全国学調、県学調等の結果分析の状況、PDCAを有効に機能させた授業改善の実施状況。 ・生徒の自発的な学習と問題集での演習・定着やクラウド学習ツールを活用した家庭学習の実施状況。 ・発表や対話のある授業や各種コンクール等への参加・出品状況。 			
3	キャリア教育と有機的に関連付けた道徳教育を充実させる。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・学校行事・生徒会行事やキャリア桐の葉の授業と関連付け、道徳内容22項目の偏りのない指導を充実させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリア教育付けた力30と道徳教育22項目の関連づけた指導の実施状況。 			
4	生徒の自主的・自立的な生活習慣・学習習慣の確立と集団の自治力を育成する取組を充実させる。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・5日間シート、人権アンケート、QU等を活用し、課題を抱えた生徒の早期発見に努める。また、専門家の助言を受け、生徒の自立を促す指導を充実させる。 ・専門委員会を月1回実施し、学校やクラスが抱える課題について考え、解決する取組を進める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ケース会議、人権アンケート、QU等の各種アンケートの実施状況とその後の生徒への働きかけ状況。 ・専門委員会を定期的に実施し、学校やクラスが抱える課題を組織的に解決する取組の実施状況。 			

学校関係者評価（月 日実施）

--